事例No.	998
公表年度	R1
団体の属性	複数団体
団体名	富山県射水市・魚津市・黒部市・滑川市・立山町・入善町・上市町・朝日町・舟橋村

事例区分	行政改革

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・事務の共同実施 ・RPA

事例種類	複数団体による業務プロセスの標準化

事例内容・タイトル

自治体クラウドを通じた定型業務の標準化とRPAの活用

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和2年3月27日公表）

★複数団体による業務プロセスの標準化① 〈 富山県射水市・魚津市・黒部市・滑川市・立山町・入善町・上市町・朝日町・舟橋村 〉

○ **富山県共同利用型自治体クラウド構成団体（９市町村）における、業務プロセスの団体間比較**を行い、**各団体が納得するベストプラクティスのプロセスを確立。**

○ **RPAを併行して導入**することにより、**更なる業務の効率化を図る**。

〈自治体クラウドを通じた定型業務の標準化とRPAの活用 〉

※ 令和元年度自治体行政スマートプロジェクト採択事業

課　題

○ 共同利用型自治体クラウドを導入したが、構成団体間で人口や職員数が大きく異なることで業務フローに差異が残り、業務効率化の余地がある。

⇒ **業務のボリュームゾーンを捉えた標準業務プロセスの確立とRPAの共同利用を行うことで職員負担の軽減・費用対効果の向上を図る。**

取　組

○ 自治体クラウドシステムを利用している業務を調査し、担当者にヒアリングや調査票での調査を行いながら、各団体の当該業務プロセスや業務時間等を分析し、**効率性の高い業務を対象業務に選定（軽自動車税、税収納、障がい者管理、子ども子育て）**、その後、団体間比較やICTソリューションの分析を通じて最終的に**RPAを活用した業務標準プロセスを確立。**

（例）軽自動車税車両異動入力事務

共通部分･･･申告書の内容をシステムに手入力、印刷（A）

差異部分･･･①**J-LISデータをダウンロード加工・印刷**し、Aと照合

②**J-LISデータを使用せず**、申告書とAを照合

③**J-LISデータをダウンロード・印刷せず**、J-LIS車両照会画面とAを照合

【標準モデル】**J-LISデータに申告書の内容を追記したものをRPAがシステムに入力し、**印刷したものを**必須項目**（課税項目に係る排気量等）**のみ**申告書と照合

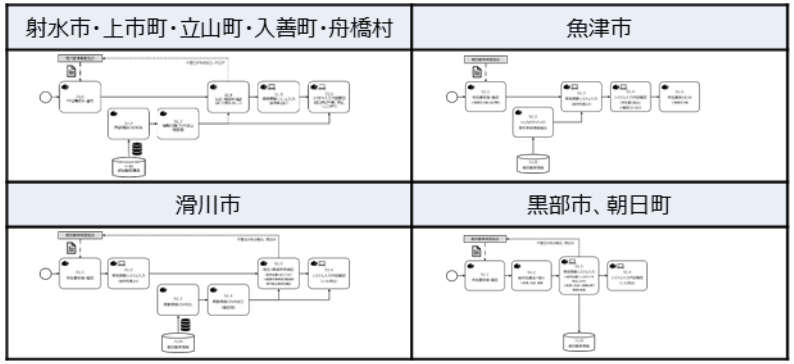
（RPAによる自動入力のため、転記ミスのための照合は不要に）

成　果

○ ９団体合計で**6,340時間の業務作業時間の削減**と、**保守料等の運用経費についても共同利用による按分効果が見込まれる結果**となった。

○ 業務分析や団体間比較等を通して、**無駄な作業の見直しができ、他市町村と課題の共有も積極的に行う**ようになった。

軽自動車税の車両異動入力事務フロー（取組前）



軽自動車税の車両異動入力事務フロー（取組後）

